

# 令和6年度 教育活動等に対する学校評価書

学校番号12 清水国際学園 清水国際高等学校

学校法人 清水国際学園 清水国際高等学校 校長 相澤優次

大分類	小分類	行動目標	自己評価 (%)			反省と取組み	学校関係者評価委員会			ご意見等	
			S	A	B		評価 (人)				
							S	A	B		
基本行動	規律性	机上是整然と整理されており、書類の管理等をきちんとしている。	19.6	74.3	6.1	学校の目標を明確にし、目標を意識した教育活動が行われるよう意識改革に努める。	0	6	0		
		諸規則を遵守し、倫理観、守秘義務に基づいた言動をとっている。									
		職務上の打合せ、会議、授業等のタイムマネジメントを実践している。									
		組織の一員であることを自覚し、組織の目標達成のために貢献している。									
	協調性	職場では、お互いが切磋琢磨すると共に、相互に支え合い・補完・助言・援助を積極的に行っている。	16.2	76.6	7.2	基本的に毎日朝礼を行い、入念な打ち合わせのうえ、学校を運営する。	1	5	0		
		組織の目標達成のために、新しい提案・企画の実現に協力している。									
		意見が異なる相手に対しても、建設的な関係性を築き円滑なコミュニケーションをとっている。									
	積極性	教員としての資質向上を常に意識し、研修会に積極的に参加するなど自己啓発に努めている。	24.3	69.4	6.3	学年団を中心に常に先を見据えて対応することを心掛ける。	3	3	0		
		常に問題意識を持ち、問題を予想しながら先手を打つような行動をしている。 新たな課題や緊急の事態にも冷静に向き合い、適切な判断に基づき、迅速に行動している。									
	責任性	教育者としての倫理観や使命感を持ち、職務の遂行に邁進している。	18.0	80.2	1.8	それぞれの役割を明確にし、学校目標に向けて建設的な意見を出し合える分掌組織に変革する。	0	6	0		
		根拠に裏付けをされた自己の見解を建設的に述べている。 不本意なことがあっても、安易に責任回避・転嫁することなく、自身の責任として謙虚に受け止めている。									
	職務行動	教科指導	生徒にとって理解しやすい授業を展開し、学ぶ楽しさや分かる喜びを喚起しつつ、学習意欲の向上を図っている。	23.1	73.1	3.7	主体的な深い学びをテーマに研究授業・公開授業などの研修機会を充実させる。	0	6		0
教材研究等、十分に授業の準備を行い、授業の質向上につなげている。											
生徒の希望進路を把握し、進路に向けて生徒のモチベーションが向上するよう的確なアドバイスをしている。											
HR学年指導		学級内で起きた様々な問題を把握し、その解決のための適切な指導を行っている。	18.8	77.8	3.5	自己肯定感を高める指導を意識し、主体的に行動できる生徒を育てる。	1	5	0		
		生徒との適切な距離を保ちつつ、学校の方針とそこに勤務する自分の考えをわかりやすく伝え指導している。									
		生徒の意欲や自主性を引き出し、自ら積極的に行動を起こすための動機付けをしている。									
		生徒の成長の過程に着目しつつ、褒めて育てるという意識を持って指導にあっている。									
校務分掌		校務において必要だとされる新たな取組みについて、自ら考え積極的に取り組んでいる。	12.8	79.0	8.2	分掌の目標を軸に、各個人が目標達成に向けて努力できるような組織づくりを目指す。	1	5	0		
		学校経営上の課題を認識し、その解決に寄与するために担当の校務を意識的に行っている。									
		学校と生徒の保護者との連携・協力を積極的に関わっている。									
保護者・関係者対応		生徒の学習・生活上の課題を保護者に的確に伝え、その解決のための方策を示して協力を求めている。	19.4	71.3	9.3	朝の時間を大切にし、生徒の変化を見逃さないこと。また、家庭との連携を密にする。	1	5	0		
		生徒及び保護者に関する問題に対して、原因究明、問題解決にあたり、その経過や結果を記録している。									
	保護者からの意見や要望に対しては、十分に耳を傾け、学校としての立場を踏まえつつ誠意をもって対応している。										
組織行動	改革断行	職場全体で関係者を巻き込み、新しいことにチャレンジしたり、現状を変革していく活動をしている。	9.0	61.3	29.7	昨年度から導入した人事評価システムを活用し、PDCAサイクルを意識して発展的な業務を行う。	0	5	1		
		組織の一員として、学校の改革につながるような、業務の改革に取り組んでいる。									
		今まで実施したことが無い、既存のパラダイムを転換するような革新的なアイデアを打ち出している。									
	情報活用	社会、経済、技術動向等及び学校、教育環境の変化や動向を的確に捉えている。	18.9	76.6	4.5	外部との連携を強化し、出前授業・講演会などを積極的に実施し、教員自身の研修を兼ねる。	0	6	0		
		外部から得た情報を、自らの専門分野における教育的技術の開発に活用している。 学内外の人脈等を通じて外部情報を積極的に収集し、外部環境の変化をいち早く捉えている。									
	戦略展開	学校・分掌の方針・戦略を実行可能な計画、測定可能な目標として、立案・実行している。	7.2	82.0	10.8	昨年度から導入した人事評価システムを活用し、PDCAサイクルを意識して発展的な業務を行う。	0	6	0		
		自身に期待される役割と責任範囲を意識し、より大きな役割を担い、果たそうとしている。 優先順位をつけ、手際よく進めるだけでなく、不測事態にも対応できる段取りを組んでいる。									
	率先垂範	自己の目標に対して、諦めず、さまざまな手段を駆使して取り組んでいる。	18.0	75.7	6.3	生徒の学習の機会、成長の機会を大切にしつつ、寄り添う指導を心掛ける。	1	5	0		
生徒の興味や関心を把握し、引き出しながら、生徒の学習の機会、成長の機会を創り出している。											
過去の失敗や過失に対して謙虚に振り返り、新たな知識・スキルの向上に役立っている。											

【評価の基準】

- S 常に実行できており、他の模範となっている
- A 実行できている
- B 実行できていない項目が多い